

グループわ は、令和元年度に主要な受託業務契約が終了したことにより活動資金が大幅に縮小し、令和2年度は赤字予算となりました。また、コロナウィルス感染防止のため多くのボランティア活動は休止中です。このような中で、グループわ はいかに財政再建を果たすのか、今後の活動をどうすれば良いのか、当プロジェクトチームは検討をすすめてきました。

その検討結果を報告します。理事会、各区会・部会役員、グループ役員、会員のみなさまの力を合わせて、この困難な時期を乗り越え、グループわ の新たな活動の推進を目指したいと考えます。

財政危機を契機に
新たな活動推進をめざす

報告書の骨子

1. 財政再建の方策

(1) 令和2年度単年度赤字財政からの脱却を目指しますが、その主要な方法は以下の2項目と考えます。

- ①新たな公益団体運営支援事業契約の獲得による収益増
- ②活動推進に無理のない費用削減

(2) 新たな公益団体運営支援事業の獲得を目指すに当たっては過大な業務負担を避け、年度で2事業程度に絞り込む必要があると考えます。今期中にめどが立たない場合は、蓄積してきた正味財産の活用も視野に入れざるを得ないと考えます。

2. 財政難の下で、グループわ の「目的」「活動」「組織」「将来目標」等の基本的な課題が焦点化していると考えます。具体的には次のような項目です。組織と活動の発展のために、ぜひ検討を進めていく必要があると考えます。

- ①目的や活動内容を規定する定款の見直し

- ②区部会組織や活動のあり方
- ③グループによるボランティア活動と会員個人のボランティア活動推進
- ④理事体制を中心としたグループわ 本部のあり方と組織運営効率化等

3. 課題解決に向けた取組推進

取り組むべき課題は、当面の緊急課題から将来に向けた中長期課題までさまざまです。グループわ の決議・執行機関である理事会において、早急に取り組課題とスケジュール、担当のあり方等を整理し、取組み開始されることを期待します。

- ・令和2年度下期 ～R3. 3. 31.
新規受託事業や経費削減の取組
令和2年度決算 財政状況の把握、予算立案
- ・令和3年度上期 R3. 4. 1. ～
中長期課題を含めたアクション・プラン策定
- ・第18回定期総会 R3. 5. 下旬
方針確認、取組みスタート

(報告書全文、添付資料はHP参照)

12月8日理事会で今後の進め方確認
12月22日運営委員会に報告

財政再建プロジェクト報告書は大槻理事長に提出され、わ本部の決議・執行機関である理事会(12/8)で具体化検討を進めることが確認されました。

2月の理事会で課題整理と進め方を確定し、直ちに取り組むべきことは今期中に取り組む、中期的課題は次回定期総会に方針提案することになります。

12/22運営委員会

運営委員会では報告書概要が報告され、意見交換がおこなわれました。「区会役員会等での



説明する大槻理事長

報告と話し合いがスムーズにおこなえるように情報提供してほしい」「定款の目的条項には高度な知識技能が謳われ、現実と乖離している印象がある」等の意見が出されました。活発な組織内論議を進めましょう!

プロジェクト・メンバー

加藤勇治(美10)、芦田義和(生15)、竹田友子(音19)、豊野文子(生20)、岩波義孝(生21)、岸野清美(健21)、富川 修(生22)、南 謙二(健22)、高木博史(園23)、道満出人(国23)、桜間 茂(生24)、事務局：浜田哲夫(生21)、横山謙一(音24)
オブザーバー：大槻隆文理事長(食20)、川部忠夫監事(健20)

検討経過概要

- R2. 8. 25. 第1回ミーティング
- R2. 9. 15. 運営委員会. 財政再建に関する提言のお願い(10通受領)
- R2. 9. 15. 第2回ミーティング
- R2. 10. 20. 第3回ミーティング
- R2. 11. 20. 第4回(最終)ミーティング